

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	生活保護に関する調査事業			担当部局庁	社会・援護局(社会)	作成責任者		
事業開始年度	昭和26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	保護課	大西証史		
会計区分	一般会計			政策・施策名	VII-1-1 生活困窮者に対し適切に福祉サービスを提供するとともに、地域社会のセーフティネット機能を強化し、地域の要援護者の福祉の向上を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被保護世帯等の生活実態を明らかにすることにより、生活保護制度の企画運営等のための資料を得る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	被保護世帯等の家計の収支及びその内容の調査。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	126	126	102	103	138	
	執行額	101	111	82	-	-		
	執行率(%)	80%	88%	80%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	「被保護世帯の家計の収支及びその内容の調査データの回収件数」が総数(13320)件の9割(11988)を超えること。	被保護世帯の家計の収支及びその内容の調査データの回収件数	成果実績	回収件数	12,476	12,446	-	-
			目標値	回収件数	11,988	11,988	11,988	11,988
			達成度	%	104.1%	103.8%	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	社会保障生計調査結果の職員、自治体、団体への配布数	活動実績	配布数	400	400	-	-	
		当初見込み	配布数	400	400	400	400	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	社会保障生計調査の単位当たりコスト = X / Y X:「委託額」 Y:「回収データ件数」	単位当たりコスト	円	7,853	7,318	-	8,316	
		計算式	X / Y	97,971,106 / 12,476	91,083,527 / 12,446	-	101,561,000 / 12,213	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	社会保障生計調査費	103	103	調査員手当の単価増、家庭の生活実態及び生活意識に関する調査の計上による増。				
	家庭の生活実態及び生活意識に関する調査	-	35	「新しい日本のための優先課題推進枠」34				
	計	103	138					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	生活保護制度に関する調査であり、同制度の企画運営に必要な事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	法において国が行う事業とされている生活保護制度に関する調査であり、国が企画し、自治体に委託して実施している。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	法において国が行う事業とされている生活保護制度に関する調査であり、同制度の企画運営に必要なため優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	調査集計の委託先の決定にあたっては、一般競争入札により決定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	一般競争入札により調査集計の委託先を決定しているため、単位当たりコストの水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	調査に必要な経費のみに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	調査集計の委託先の決定にあたっては、一般競争入札を行うことでコスト削減に努めている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	「被保護世帯の家計の収支及びその内容の調査データ」回収件数の成果実績が、成果目標である回収件数総数の9割を超えている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	概ね見込通りのものとなっている。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	被保護者の生計調査の結果について、生活保護基準の検証のためのデータとして使用する等の活用を行っている。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-	
点検・改善結果	点検結果	社会保障生計調査費等については、生活保護制度のあり方を検討するためのデータ等を得るために必要であり、今後とも被保護世帯の生活実態を明らかにするために引き続き実施していく必要がある。			
	改善の方向性	調査等を行う世帯数は適切と考えており、今後も、より一層効果的な事業となるよう見直しを進めていく。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	427	平成23年度	386	平成24年度	334
平成25年度	696	平成26年度	699		

厚生労働省 102百万円

【調査に関する基本的な企画、立案】



【委託】

A 都道府県・市(32) 102百万円

(内訳) 上位10者

東京都	19 百万円
北海道	7 百万円
大阪府	5 百万円
福岡県	4 百万円
札幌市	4 百万円
京都市	4 百万円
新潟市	3 百万円
岩手県	2 百万円
宮城県	2 百万円
秋田県	2 百万円

【社会保障生計調査の実施】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.東京都			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	報酬	調査員に対する手当	9			
	報償費	調査世帯に対する手当	9			
	需用費	調査印刷物の作成	1			
	計		19	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	被保護者世帯の家計の収支及びその内容の調査	19	-	-
2	北海道	被保護者世帯の家計の収支及びその内容の調査	7	-	-
3	大阪府	被保護者世帯の家計の収支及びその内容の調査	5	-	-
4	福岡県	被保護者世帯の家計の収支及びその内容の調査	4	-	-
5	札幌市	被保護者世帯の家計の収支及びその内容の調査	4	-	-
6	京都市	被保護者世帯の家計の収支及びその内容の調査	4	-	-
7	新潟市	被保護者世帯の家計の収支及びその内容の調査	3	-	-
8	岩手県	被保護者世帯の家計の収支及びその内容の調査	2	-	-
9	宮城県	被保護者世帯の家計の収支及びその内容の調査	2	-	-
10	秋田県	被保護者世帯の家計の収支及びその内容の調査	2	-	-